

大規模利用に対応

高負荷電力ニーズに対応したフロアの提供（二期棟）

- ・高負荷フロアでは一部屋当たり実効 1.5 MWの電力を提供
- ・高負荷フロアはホールセール方式採用によりラックレイアウトのカスタマイズが可能
- ・700 mm幅の 19 インチラックを 216 ラック設置可能
- ・高負荷フロアの天井高は 3,500 mmを採用

NEC神奈川データセンター概要

NEC神奈川データセンターは、NEC Cloud IaaSに加え、お客様固有のシステムを設置できるハウジングサービスも提供するハイブリッドデータセンターです。クラウドとハウジングの一体運用を実現することで、システム全体での効率性や運用負荷の軽減などのメリットを提供します。

項 目	内 容		
	二期棟		一期棟
立地	地震・津波	活断層から 14 km以上・海岸から 30 km以上の距離、海拔 約 134 m	
	洪水・土砂災害・液状化	ハザードマップ被害想定区域外	
	地盤	非常に固い (N値※ 60 以上)	
	交通	新宿駅から約1時間	
建物構造	建屋	地上 6 階建て、S造	地上 4 階建て、RC造、耐震構造 官庁施設の総合耐震計画基準 I類に準拠
	免震構造	建物免震構造	サーバ室 床免震
	床荷重	スラブ 1,500 kg/m ²	免振床 標準： 800 kg/m ² 、最大 1,500 kg/m ²
電気設備	受電	特別高圧電力 本線予備線受電（二回線）	
	自家発電機	N+1 冗長構成、満床時 72 時間無給油連続運転可能	
	UPS	N+1 冗長構成、電力供給時間 10分	
	ラック供給電力（定格電力）	標準： 平均 8 kVA、最大 15 kVA	標準： 平均 8 kVA、最大 15 kVA 高負荷： 平均 13 kVA、最大 20 kVA
空調設備	熱源・空調機器・配管	冗長構成	
	pPUE値※	1.16	1.26
セキュリティ	設備	金属探知ゲート、フラッパーゲート、共連れ防止（前室、サークルゲート（一期棟のみ））、ICカード認証、顔認証、電気錠（標準ラックに装備）、監視カメラ、外周フェンス、赤外線センサー設置	
	運用	24 時間 365 日有人監視 有人警備＋金属探知機（入館管理、持ち込み持ち出し品検査）、アンチパスバック、セキュリティゾーン管理、証跡保管	
通信キャリア	キャリアフリー		
火災対策	超高感度煙検知器、窒素ガス消火設備		
公的認証等	プライバシーマーク、FISC®安全対策基準（設備基準）準拠、ISO/IEC27001（情報セキュリティマネジメントシステム）、SOC1 Type 2、SOC2 Type 2レポート※（内部統制保証報告書）*1、ISO22301（事業継続マネジメントシステム）、ISO14001（環境マネジメントシステム）、PCI DSS®		
*1 二期棟はSOC2/Type2を2025年3月取得予定			

※N値：標準貫入試験（JIS A 1219）によって求められる地盤の強度等を示す数値。50以上は極めて固いとされる

※pPUE：Partial Power Usage Effectiveness。データセンターの電力効率を示す指標。全体消費電力÷IT機器消費電力で、1に近いほど省エネ性能が高い。

日本データセンター協会 PUE計測・計算方法に関するガイドラインVer.3.0（空調効率を見るpPUE/熱源まで含んだ効率を見る）に記載の算出方法に空調設備（電気諸室）をPUEの分子に含めて算出

※FISC（Center for Financial Industry Information Systems）：公益財団法人金融情報システムセンター

※SOC（Service Organization Control）レポート：米国公認会計士協会（AICPA）が定める受託業務の内部統制保証報告書

※PCI DSS（Payment Card Industry Data Security Standard）：クレジットカード業界のセキュリティ基準。12ある準拠要件のうち、要件9の認定取得

お問い合わせは、下記へ

NEC クラウド・マネージドサービス インフォメーションデスク

【窓口営業時間】9:00～12:00 13:00～17:00 月曜日～金曜日（祝日・NEC所定の休日を除く）

E-mail: info@ebiz.jp.nec.com

URL: http://jpn.nec.com/outsourcing/dc/kanagawa.html

クラウドサービス・アウトソーシングサービス

NEC神奈川データセンター



「安全・安心」「効率・グリーン」「コネクティビティ」を徹底追求し、お客様のさまざまなニーズに対応

NEC神奈川データセンター

安全・安心

安全性と利便性を兼ね備えた立地

- 自然災害による被害を受けにくい安全な立地
 - ・地盤：非常に硬い(N値※ 60以上)
 - ・地震：活断層(立川断層帯)から 約14km
 - ・津波：海岸から約30km
 - ・洪水：自治体ハザードマップの被害想定区域外

- 新宿駅から約1時間

※N値：標準貫入試験(JIS A 1219)によって求められる地盤の強度を示す数値。50以上は極めて固いとされる

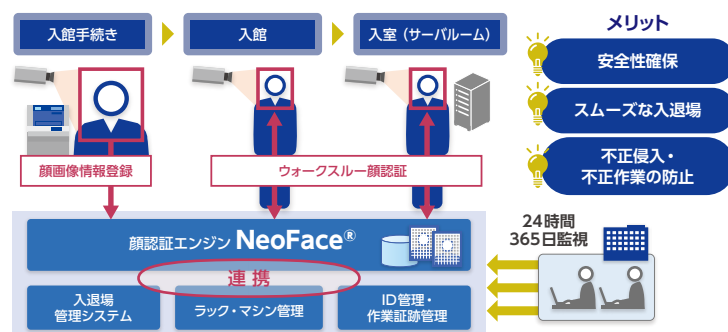


NEC独自の顔認証技術により、強固なセキュリティとスムーズな入退場を実現

世界
No.1
の認証精度

- 入退場の認証には、世界No.1の認証精度・速度*を誇るNEC独自の顔認証エンジン「NeoFace®」を採用し、安全性と利便性を両立
 - ・ウォークスルー顔認証により、カメラを意識することなくスムーズな入館・入室と連携防止を実現

*米国立標準技術研究所(NIST)による顔認証ベンチマークテストでこれまでにNo.1を複数回獲得
https://jpn.nec.com/biometrics/face/history.html
※NISTによる評価結果は米国政府による特定のシステム、製品、サービス、企業を推奨するものではありません



事業継続を支える充実のファシリティ

- JDCCティア4※相当の仕様
- 堅牢な建物、かつ免震構造により地震動からシステムを保護
 - ・二期棟：S造 基礎免震構造を採用
 - ・一期棟：RC造(総合耐震計画基準1類) 床免震構造を採用



- 電力供給
 - ・冗長化UPSと72時間連続無給油運転可能な自家発電装置により、停電時も安定的に電気を供給

※JDCCティア4：JDCC(特定非常利活動法人 日本データセンター協会)が制定した、日本国内のデータセンターに求められる信頼性を実現するためのファシリティ内容を定めた基準

セキュリティ標準への準拠と内部統制対応

- 万全のセキュリティを実現する仕組み・体制やサービスの提供
 - ・赤外線センサー、監視カメラによりデータセンターへの不正侵入を防止
- さまざまな公的認証を取得し、安全性を保障
 - ・総務省「クラウドサービス提供における情報セキュリティ対策ガイドライン」に準拠
 - ・金融機関に求められるセキュリティレベル「FISC※安全対策基準(設備基準)」に準拠
 - ・クレジットカード業界のセキュリティ基準「PCI DSS※」に準拠
 - ・内部統制対応に役立つSOC2 / Type2レポート※を提供

※FISC(The Center for Financial Industry Information Systems)：公益財団法人金融情報システムセンター
※PCI DSS(Payment Card Industry Data Security Standard)：クレジットカード業界のセキュリティ基準。12ある準拠要件のうち、要件9の認定取得
※SOC2(Service Organization Control 2)レポート：米国公認会計士協会(AICPA)が定める受託業務の内部統制保証報告
※二期棟はSOC2/Type2を2025年3月取得予定

効率・グリーン

自然エネルギーの活用によるグリーンDC

- フリークーリングシステムによるサーバールーム冷却の効率化(全棟)
- ターボ冷凍機用冷却水として地下水を活用(全棟)
- 太陽光発電システムによる館内照明への電源供給(共用棟)
- 再生可能エネルギーから作られた商用電力の採用
 - ・非化石証書発行サービスの提供(二期棟)



屋上フリークーリング(二期棟)

太陽光パネル



*NECグループの温室効果ガス排出削減目標は、パリ協定を目指す「1.5℃目標」と科学的に合致した目標であるとして、SBTイニシアチブから認定されています。



*NECグループは、「RE100」に加盟し、2040年度までに事業で使用する電力を100%再生可能エネルギーとすることを目指しています。

独自技術を採用した空調方式でpPUE=1.16※を実現

pPUE
1.16
国内最高レベル

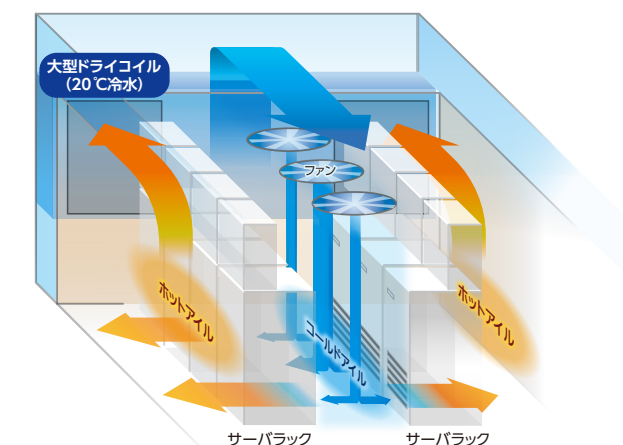
サーバールームの空調を低消費電力化

- 20℃の高温冷水*をサーバ室冷却用冷水として採用し、pPUE 1.16 を実現(二期棟)
 - ・フリークーリング(外気を活用した冷水生成)の活用を長期間化

*一般的なデータセンターで採用されている10℃前後の冷水に比べ省エネ
※pPUE：Partial Power Usage Effectiveness。データセンターの電力効率を示す指標。全体消費電力÷IT機器消費電力で、1に近いほど省エネ性能が高い。日本データセンター協会 PUE計測・計算方法に関するガイドライン Ver.3.0(空調効率を見るpPUE/熱源まで含んだ効率を見る)に記載の算出方法に空調設備(電気諸室)をPUEの分子に含めて算出

- 天井からの冷気吹き出し構造による効果的なサーバ冷却
 - ・サーバラックから排出された暖気を大型ドライコイル(冷却装置)に吸い込んで冷却
 - ・生じた冷気を、冗長構成のファンを使って二重構造の天井内からサーバールームのコールドアイルに送出
 - ・コールドアイルとホットアイルの温度を管理し、温度に応じた必要量の冷気がファンから送出されるよう自動制御

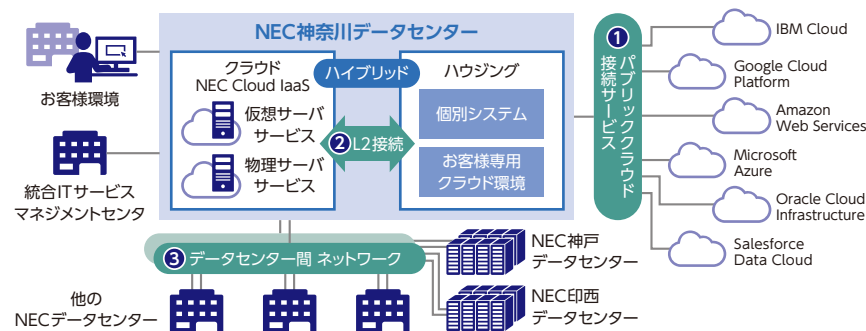
マシンルームの冷却方式(ハウジングルーム)



コネクティビティ

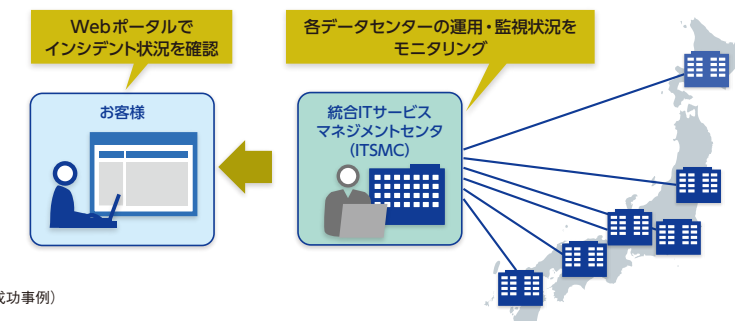
様々なクラウドサービスと閉域冗長接続を実現

- 1 「パブリッククラウド接続サービス」により、様々なクラウドサービスとの閉域冗長接続を高コストパフォーマンスで実現可能
- 2 NECのクラウド基盤サービス「NEC Cloud IaaS」とハウジングサービスをNEC神奈川データセンター内でレイヤ2接続し、ハイブリッド環境を実現可能
- 3 NEC神戸データセンターを始めとする他のNECデータセンターと「データセンター間ネットワーク」で接続。サイト相互でBC/DR環境を構築可能



高品質な運用サービス

- NECのコアデータセンターを一元的に運用・監視
 - ・ITIL®※をベースに構築された「統合ITサービスマネジメントセンタ」から、NECのデータセンターを運用・監視
 - ・高い専門性を持った運用要員が24時間365日対応
 - ・豊富な実績に基づく最適な運用設計と標準化、体系化により安定した運用品質を実現
 - ・Webポータルから、お客様自身でインシデント発生状況を確認可能



※ITIL®(Information Technology Infrastructure Library)：ITサービスマネジメントのベストプラクティス(成功事例)をまとめた、公開されたフレームワーク(ITIL® is a Registered Trade Mark of AXELOS Limited.)